

こども園における自己評価

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めてまいります。

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
						A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			・年度初めに、法人としての合同研修において、教育・保育理念を周知した。また、職員の自己評価を基に面談し、常に意識できるような機会を設けている。 ・当園が目指す保育について、全職員で研修を行い、一貫した教育・保育ができるように心がけている。 ・ホームページや園だより、各クラスだより等において保護者にも子どもの様子と共に5つの心を知らせるようにしている。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育・保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・ミマモリングソフトを活用し、乳幼児期からの段階的な発達の理解をしながら、教育・保育内容や環境の見直しを行っている。 ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿・養護と教育の一体的保育の重要性を再確認しながら保育の展開を行っている。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか		○			・園児の表情や、保護者との会話、連絡帳などを通して一人ひとりの家庭の背景や生活リズム、発達等を把握し個々に寄り添った援助ができるように努めている。また朝礼や終礼で子どもの様子等を伝達し合うことで、共通理解につなげている。 ・食事については毎月給食会議を実施している。日々の子どもの食事の様子や姿を伝達し、必要に応じて改善を行うように努めている。 また、園の畑で野菜を栽培し収穫をしている。収穫したものを給食に入れてもらったり、野菜の皮むき体験をしたりすることで食に対する楽しさや作る人への感謝の気持ちを大切にしている。 ・収穫野菜でクッキングを行い、五感を使って食育体験を行っている。 ・子どもが主体的に活動ができるよう、研修等に参加し、知識を養っている。子ども一人ひとりの姿や発達をしっかりと把握し、職員同士で話し合いながら進めているところである。 ・健康安全については看護師を含め、各担任が意見を述べ環境を整えている。 ・市の家庭児童相談員に月1度訪問してもらい、助言や指導を受けている。また、県の療育支援事業を活用し、専門の先生に訪問していただいて環境を見ていただいたり、指導を受けたりしている。 ・幼保認小連絡会や小学校職員との接続研修に参加し交流を図り、情報交換に努めている。 子ども達同士の交流会も予定しており、円滑に就学に向けて連携をしていきたい。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			・保護者と職員の信頼関係を築くために、年2回、個別懇談会を設けている。 ・園児は、身体測定や着替え、おむつ交換等の際、虐待が疑われる状況がないか意識して観察している。虐待に関する園内研修も実施している。 ・市の家庭児童相談員との連携を積極的に行っている。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育・保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか		○			・看護師を中心に、こまめな消毒、換気を行い、感染予防に努めている。また、県の感染症情報を開示するなど、職員間での情報共有を積極的に行っている。 ・アレルギー児には、保護者、担任、看護師、栄養士が聞き取りを行い、医師の指示に従って対応している。また、調理師との連携もこまめに行っている。 ・安全管理、危機管理のマニュアルに沿って行っている。職員全体にマニュアルが徹底されるように努めていく。 ・園内研修で、嘔吐処理等、感染症について学び、全職員が対応できるようにした。 ・園内研修やフロア会を通じて、日々の保育について話し合ったり、相談し合ったりしている。また、外部の研修会に、積極的に参加し、職員の保育の質の向上に努めている。 ・守秘義務と個人情報の保護に関しては、日々職員へ遵守を呼びかけ、共通理解を図っている。個人情報を含む書類においては、適正に管理されている。 ・意見、要望箱を玄関に設置している。また、送迎の際、職員が玄関に立ち、常に保護者対応ができるように努めている。今後も、園の方針を丁寧に伝えながら、お互いを認め合う姿勢で対応していきたい。 ・定期的に自己評価等を行い、職員自身の教育・保育を見直すように努めている。園全体での課題や見直しなども改善、実施していくように努めていく。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			